

問題提起

「メディコ・ポリス構想と農村医科大学への実践課題」

佐久総合病院 色平 哲郎

色平哲郎（いろひら てつろう）

1960年横浜市生まれ。1978年東京大学入学、1990年京都大学卒。内科医。

1998年から10年間、長野県南相木（みなみあいき）村国保直営診療所長。

08年春からJA長野厚生連・佐久総合病院地域ケア科医師。

京都大学医学研究科非常勤講師。

【略歴】

医学教育や国際保健活動に関わる一方で、一般内科医として訪問診療・在宅ケアを担当する。

外国人HIV感染者・発症者への「医職住」の生活支援、帰国支援を行うNPO「アイザック」の事務局長としても活動を続ける。

こうした活動により1995年、タイ政府より表彰を受ける。

現在は、通算12年間の村国保診療所長としての経験を生かしながら、大学での講義、医療経済やメディカルリテラシーに関わる市民向け講演を担っている。

歴史的ケア概念と人々の願い（すきな人とすきなところできらし続けたい）

メディア＝リテラシーとメディカル＝リテラシー

財としての医療サービスの特徴とは？（ヒューマンエラーについて）

Medicine is a science of uncertainty and an art of probability.

診療の現場（待ち時間／診療時間と患者満足度、「早い、旨い、安い」）

ヒトの死亡率、AKA、STS、00、雨ニモアテズ

国内医療者数の今後見通し (global migration の現状は?)

認知症／超高齢時代への対応策は?

住まいと介護ケア (「三県問題」)

期待度 $PS = P + 0 - pE$ 、技術論 (第○次医療技術革新)

医科大学院構想 タバコの医療経済学 被告／被告人